

令和 2 年度

市政世論調査概要

第 7 4 集

和 歌 山 市

はじめに

この春、誘致を進めてきた5つの大学がすべて開学し、多くの若者がまちなかを行き交います。また、夏には「文化部のインターハイ」と呼ばれる「紀の国わかやま総文2021」が、秋には、「紀の国わかやま文化祭2021」が開催されます。いずれも和歌山県では初開催ということで、今年は若い力と文化・芸術が相まって大きな花を咲かせる年になるのではないかと、期待しております。その明るいパワーを全国の人に届け、ウィズコロナ時代の渇きがちな人々の心に潤いと希望を与えられるよう、細心の注意とおもてなしの心で成功させたいと強く決意しています。

また、福祉の面では、介護や子育てなど複雑に絡み合った様々な生活課題を抱える方々への包括的な支援体制の整備により、住み慣れた地域で生涯にわたって健康で安心して暮らせるまちを目指します。

誰もが愛着と誇りが持てるまち、明るい未来を思い描くことができ、子供たちの笑顔があふれるまち「きらり 輝く 元気和歌山市」の実現に向けて、市民の皆様と力を合わせて全力で取り組んでいきます。

この冊子は、アンケート調査で得られた貴重なご意見を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映することを目的としています。ここに、令和2年度市政世論調査概要（第74集）を取りまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民のみなさまに厚くお礼申し上げます。

令和3年3月

和歌山市長 尾花正啓



和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

和歌山市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

目 次

I. 調査の概要	5
1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の方法	5
4. 集計区分	6
5. 回答者の属性	7
6. 回答者の家族環境	11
II. 調査の結果	15
1. あなたの身の回りの状況やお考えについて	15
2. 新型コロナウイルス感染症に関する施策について	21
3. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について	26
4. 和歌山市の市政について（自由意見）	51
III. 調査票	55

※報告書利用にあたって

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。
- 図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。